

2026年8月20日
一般社団法人 日本野球機構

「NPB 熱中症対策ガイドライン」
二軍試合における試合挙行判断に関する件

本ガイドラインは、熱中症に関する基本的な知識を示し、NPB 公式戦、練習時等のスポーツ活動やその他のイベントにおける選手、球団関係者、審判員、観客等の安全と健康を守るため、必要な事前準備および対策を行うための対応指針を定めるものです。なお、試合挙行については、主催球団の責任・判断によるものとします。

【上記（太字下線）についての具体的基準】

試合当日のいずれの時点においても WBGT が 28℃以上となることが予測される場合は、「NPB 熱中症対策ガイドライン」に定める対応を講じた上で、試合・練習を実施するものとする。ただし、WBGT が 31℃以上となることが予測される場合の対応については、以下のとおりとする。WBGT の計測に当たっては、フィールド上において、NPB から配布した計測器を使用するものとする。

1. 試合前練習時（主催球団・ビジター球団の練習開始時に測定）

WBGT が 31℃以上の場合は、主催球団およびビジター球団の 2 者で協議の上、最終的に主催球団の責任・判断に基づき、試合前練習の中断または中止を決定することができる。

2. 試合開始前（試合開始 1 時間前に測定）

WBGT が 31℃以上の場合、または試合開始時まで 31℃以上となることが予測される場合は、審判員、主催球団およびビジター球団の 3 者で協議の上、最終的に主催球団の責任・判断に基づき、試合開始時間の変更または試合の中止を決定することができる。

3. 試合中（3 回、5 回、7 回終了時に測定）

WBGT が 31℃以上の場合、またはその後 31℃以上となることが予測される場合は、審判員、主催球団およびビジター球団の 3 者で協議の上、最終的に主催球団の責任・判断に基づき、試合の中断または中止を決定することができる。

以上